

魚沼漁協だより

号外

平成29年6月12日

発行 魚沼漁業協同組合
組合長 皆川 雄二
〒946-0021 魚沼市佐梨 1105-16
TEL(025) 792-0261
<http://www.uonuma-gyokyou.or.jp/>

平成29年あゆ解禁七月十日朝七時

昨年は、内外の大勢の皆さんからあゆ釣りにお越しいただきありがとうございました。待望の魚野川本・支流のあゆ釣り解禁が間近となりましたので、今シーズンの放流状況等についてお知らせいたします。

今冬は平地では暖冬少雪、高い山では大雪という特異な降雪状況でした。このため、野積の天然あゆ確保では雪代増水による採捕の遅れ、加えて長野県内の地滑りによる信濃川の濁りの影響もあって、計画の一五％程度の九〇kgにとどまるなどの影響がありました。

この天然海産稚魚は、昨年に引き続き堀之内地区に集中放流を行い育成や遡上等の状況調査を行うことで、今後のあゆ放流に生かして行くこととしておりました。

また、中間育成種苗あゆでは、野積海産を親魚とした中間育成魚を五月二十三日から、山形県海産を親魚とした長野県天竜川漁協育成魚を五月二十六日から放流しました。今後の天候や河川の状態に恵まれれば昨年のように大型になって太公望の竿を絞り込んでくれることと期待しています。その他、海産あゆの不足を補うため富山県産稚魚を放流しましたので、放流全体量では目標の七、三五〇kgを上回る事ができました。

魚沼漁協では、数種のあゆ稚魚の放流を実施しております。それらの生育状況などについて、今後とも調査研究しながら、皆さまに喜ばれるあゆ漁場としての河川環境の改善に努めて参ります。是非、おいでください。

今年の放流数は何万尾？

あゆ稚魚の放流数は重量(kg)で計算しておりますが、尾数の方も知りたいという意見もありますので、放流尾数を次のように推計算出しました。

- ・中間育成あゆ (野積海産 魚沼漁協)
平均六・九四gで放流量が五、〇七〇kgでしたので七三〇、五〇〇尾
- ・中間育成あゆ (長野県海産 長野県天竜川漁協)
平均八gで放流量が二、〇〇〇kgでしたので二五〇、〇〇〇尾
- ・中間育成あゆ (富山県海産 大門漁協)
平均一二gで放流量が二〇〇kgでしたので一六、六〇〇尾

海産あゆ

平均一・六gで放流量が九〇kgでしたので五六、二五〇尾
総計四種類を合算しますと、一、〇五二、三三〇尾となりました。

この他にも天然遡上あゆも沢山あると推測されます。

○組合員の投網解禁 八月一日(午前七時)

ただし、友釣り専用区を除く。
投網は組合員だけに認められます。

○登川で投網禁止

長大橋から美郷大橋迄の間を六月一日から七月三十一日迄投網を禁止。

○コロガケ解禁

信濃川 八月一日 午前七時
魚野川 九月一日 午前七時
但し、友釣り専用区域は除く(裏面参照)

○毛針、餌釣り(コマセ釣り含む)の禁止
八月一日午前七時まで禁止です。
投網、コロガケ等の解禁時間はいずれも午前七時からです。

○あゆ漁業のルアーの解禁日時は、九月二十日午前七時とする。

○あゆ漁業のリリースについて、遊漁規則、行使規則の竿釣りに含む。

○小出地区(福山橋から下流JR只見線鉄橋までの間)は九月二十日午前七時まで投網及びコロガケを禁止する。

あゆ、禁漁のお知らせ

●十月一日から七日まで全区域禁漁です。

●あゆの再生産のために

あゆの再生産をはかるために、十月一日から七日まで全区域で、あゆは禁漁とされています。また今年も、あゆの産卵が多い川口地区魚野川の、飯山線鉄橋から上流関越道橋までの間を、十月一日から十一月二十日まで、全面禁漁と決定しました。

●鮭の一括採捕と協調を

鮭一括採捕のためのウライ付近における、あゆその他の漁は、鮭漁に種々の支障があるので、ウライより上流五〇m、下流一五〇mの間を、ウライ設置の日より撤去の日まで全面禁漁です。

ホームページによる釣果情報

昨年に続き、今年度も組合員によるあゆの釣果情報や河川情報を、ホームページに掲載しています。参考にしてください。

年券購入の方は日にちの余裕を持ってご購入ください。